

様式第2号 (第3条、第6条、第7条及び第8条関係)

事業計画書 (実績書)

令和8年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	綾部市地域防災計画に規定する「災害ボランティアセンター」を常設し、平常時から研修や訓練などを通じ参画団体の連携や活動体制の整備を進め、被災者の早期生活復旧を支援することを目的とする。
事業の名称	綾部市災害ボランティアセンター運営事業
事業費 (市補助金)	331,445円 (100,000円)
補助金の使途	綾部市災害ボランティアセンターが主催する、研修会などの経費及び災害時の活動に必要な資材の整備
事業実施期日	令和7年4月1日～令和8年3月31日
事業実施場所	綾部市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	1) 災害ボランティア活動の情報交換及び調査・研究活動 ・綾部市災害ボランティアセンター運営委員会の開催 (6/3、7/29、12/11) 2) 協議・検討事項等 ・能登災害支援活動について活動報告 (6/3) ・災害ボランティアセンター運用訓練について (7/29) ・情報交流会 (12/11) 3) 防災訓練の参加 ・災害ボランティアセンター運用訓練 (8/31) 避難所への支援物資運搬支援活動 (参加者47名) (小学校、自治会、運輸事業所、運営委員会との連携) 4) 市外災害ボランティア組織との連携及び協力 ・京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワークへの加盟 5) 防災研修 「災害ボランティアセンター機能について」 8/25綾部公民館、11/16寺町西自治会、11/16上野自治会 6) 資材の整備
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	1. 定期的に災害ボランティアセンター構成団体との意見交換と学びの機会を設け、センター運営における機能強化につなげた。 2. 防災訓練への参画・準備を通じて、これまで接点のなかった企業や団体との一体的な取り組みの実施、および新たなつながりを構築することができた。併せて、運営委員と社協職員の経験値を高めることができた。

様式第4号 (第3条、第7条及び第8条関係)

収支予算書 (計算書)

令和8年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	100,000	100,000	綾部市
	市社協補助金	100,000	100,000	綾部市社協
	府共募補助金	130,000	130,000	府共同募金会
	雑収入	1,000	71	利息
	繰越金	3,353	3,353	前年度繰越
	合 計	334,353	333,424	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	謝金	5,000	0	
	旅費	7,000	4,720	府ボラセン総会
	賃借料	10,000	0	
	消耗品費	22,353	34,873	飲料、事務用品、カタログスタンド、電池、ロープ他
	印刷費	5,000	9,422	チラシ印刷、コピー代
	備品費	250,000	236,390	ポータブル電源、書庫、水中ポンプ
	役務費	35,000	46,040	通信運搬31,680円、手数料12,860円 保険料1,500円
	合 計	334,353	331,445	
差 引		0	1,979	次年度へ繰越